

## 2015年度の主な事業報告書 (2015年4月1日～2016年3月31日)

### ■ 事業実施の概要について

箕面の山麓保全を推進する中間支援組織であるNPO法人として機能強化につとめ、箕面山麓保全アクションプログラムに基づき、山麓部がもつ公益的な多面的価値を最大限発揮するように多彩な活動を活発に行いました。

中核事業である「山林所有者との関わり強化」では、山林所有者に代わって山林整備を行うボランティア派遣を着実に行った他、「資金の循環の仕組みづくり」では、「山麓ファンド」への募金金額が、2年連続で100万円を超えるなど、多くの市民の皆様のご協力をいただきました。

「対話と協働のネットワーク構築」では、国有林内外で国・府・市などの行政との「協働」の取り組みで、シカによる食害を防止する「植生保護ネット」を設置しました。

「情報の共有化とPR・広報の強化」では、ホームページ(山なみネット)で活発に情報発信しました。

「人材・組織の育成」では、人と自然の入門講座である「みのお森の学校」などを開催しました。

「調査・研究事業」では、平成27年度森林病虫害防除活動優良事例コンクールで、ナラ枯れ被害防止グループが森林病虫害防除協議会会長賞を受賞し、箕面市長表彰も贈られました。

「ファンド助成」事業では、山林所有者や市民団体に広報や申請書の配布、受付、相談、チェックなどの助成サポート業務を着実に行いました。

別途、箕面ビジターセンター企画運營業務については、プロポーザル方式による公募に応募し事業者として選定され、2015年10月～2018年9月の期間で活動を継続することになりました。

また、阪急阪神ゆめまち基金の助成申請に応募し、採用されました。(助成額80万円)



みのお森の学校(実習)



山林整備サポート(倒木処理)



ヤマザクラの植樹(とどろみ)

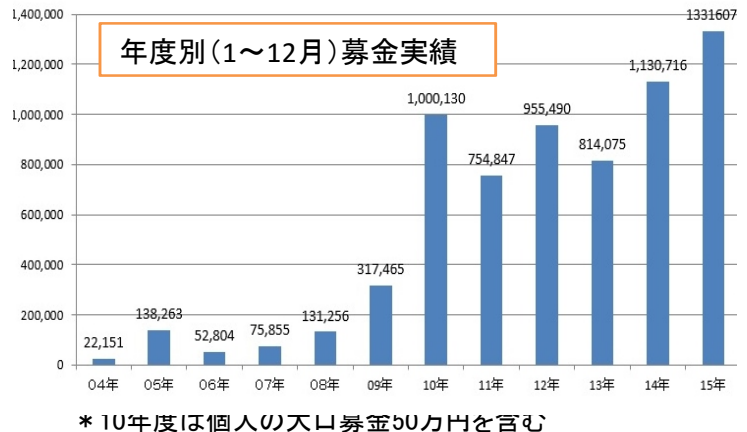
### ■ 中核となる事業について

#### 1. 山林所有者との関わり強化

山林所有者の”悩み相談会”を年2回行った他、個々の山林所有者の問い合わせなどにキメ細かく対応しました。山林整備サポート(ボランティア派遣)件数は、35件となり前年より1件増えました。

#### 2. 資金の循環の仕組みづくり

2015年(15年1月～12月)の募金額は1,330千円となり、2年連続して100万円を超えました。「箕面の森の守りびと」(山麓ファンドサポート個人会員)は200名となり、28名増えました。



#### 3. 対話と協働のネットワーク構築

「明治の森箕面自然休養林」(国有林)では、市民団体が中心となり、国、府、箕面市などの行政委員と市民団体委員との対話と協働を前提として、年7回の例会を開催した他、シカによる食害防止や生物多様性の保全など、多彩な活動を活発に行いました。

## ■ 外部環境の変化

### 1. 税を財源とした山麓保全活動の継続 ※公益信託みのお山麓保全ファンドの継続

04年度に箕面市が2億円を信託して始まった「山麓保全ファンド」の残高は、15年度末には約6百万円となり、財源が枯渇しました。

市では、貴重な財産である良好な自然環境や住環境をはじめとする都市環境を将来にわたって守り、その魅力を向上させるため、2016年7月から法定外目的税「開発事業等緑化負担税」を導入する(開発行為などを行う事業者を対象に課税し年間約3,000万円の税込見込)ことになりました。税収は、市が行う森林整備、市街地緑化、農地保全に関する事業や山林所有者・市民による里山保全活動への助成などに活用されます。

開発事業等緑化負担税が財源となり、「公益信託」を活用した山麓保全活動が継続されることとなりますが、さらに活動の公開性や透明性が求められています。

### 2. 増えすぎたシカによる食害やナラ枯れ被害の拡大による自然災害のリスク

近年、大阪府でも集中豪雨(1時間降水量50mm以上)の発生頻度が増加しており、土砂災害などの自然災害の発生リスクが増大しています。

一方で、増えすぎたニホンジカの食害による森林の下層植生の劣化、カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害によるブナ科樹木の枯損など、森林の持つ水源涵養や土砂災害などの防止機能の低下が見られ、私たちの暮らしにも影響しかねない自然災害の発生リスクが増大しています。

### 3. 「協働」の取り組みが求められる山麓保全活動

森林の持つ公益的で多様な機能を最大限発揮するために、シカによる食害対策、ナラ枯れ被害の対策など、行政や山林所有者、市民による「協働」の取り組みが求められています。

国・府・市など行政による対策、市民による活動、それらを連携する情報や意見の交換、役割分担を明確にした協議会や連絡会などの仕組みによる具体的な対策実施が求められています。



山林所有者所有地の土砂崩れ



シカ害から守る植生保護柵の設置



ナラ枯れ枯死木に粘着シートを貼付

## ■ 内部環境の変化

### 1. 拡大する活動範囲や領域

箕面山麓保全アクションプログラムでは、森林の持つ公益的で多様な機能を最大限発揮することを目的にあげています。森林の保全や活用に対する課題(シカによる食害やナラ枯れ被害など)は、山麓・山間部に共通する課題であることから、活動範囲を山麓部および山間部に拡大しています。

また、森林の持つ公益的で多様な機能を最大限発揮するために、山の幸づくりや子どもたちの環境学習など、活動が不十分な領域もあり、新たな未来に向けた里山作りの構築が求められていると考えています。

### 2. 持続可能な組織運営

2015年度は、収支差額が赤字(387千円)となり、期末正味財産が2,392千円となりました。赤字要因としては、10月に大阪府からプロポーザル方式で受託した箕面ビジターセンター自然解説事業の先行投資(HP作成・PC購入)、ナラ枯れ被害防止のための活動費用(695千円)の負担増、活動の拡大による事務局人件費の増加などがあげられます。

ナラ枯れ被害防止の資材購入については、一部、個人から寄付金(259千円)をいただきましたが活動に必要な財源確保が課題となっています。

新たに「阪急阪神ゆめまち基金」の助成申請に応募し、採用(80万円を前受金で計上)されました。持続可能な組織運営のためには、活動を支える財源の確保と財務体質の強化、及び持続可能な人材確保が課題となっていると考えています。



## ■ 個別の事業の実施状況

### 1. 広報事業(情報の共有化とPR・広報強化の事業)

#### (インターネットを利用した広報)

##### 1-1 ホームページ(山なみネット)による広報強化、及び情報公開

- ・精力的に「ブログ」に記事掲載(年間202回)を行った他、トピックスやイベントカレンダーを更新するなど、タイムリーな情報発信を着実に実施しました。
- ・山麓保全ファンドの助成結果やNPO山麓委員会の活動情報などの情報公開を行った他、箕面ビジターセンターのイベント情報や森の安心・安全情報などを発信しました。
- ・箕面ビジターセンター企画運營業務においては、新たにホームページを作成して、コンテンツの充実・強化を図り、2016年3月に公開しました。

#### (紙媒体などによる広報)

##### 1-2 全世帯向け広報

- ・箕面市全世帯向け広報紙「もみじだより」の広告掲載を、年2回(8・2月)行いました。「山麓ファンド」による山林所有者や市民団体への活動助成、ファンド募金の他、森の学校など人材育成事業についても広報しました。

##### 1-3 ニュースレターの発行

- ・広く山麓保全の情報発信を図るために、ニュースレター「みのお山なみ通信」を年4回(4・7・10・1月)発行しました。
- ・箕面ビジターセンターだよりも、同様に年4回発行し、その他のイベントチラシなどとあわせてNPO山麓委員会会員や「箕面の森の守りびと」山麓ファンドサポート会員などに郵送しました。

#### (イベントを通じた広報)

##### 1-4 イベントの開催・出展

- ・山とみどりの市民イベント(4月千里中央、10月箕面)を2回開催すると共に、箕面の森の音楽会(2回)や森のふれあい広場などで、山麓保全活動の紹介や山麓ファンドへの募金活動を行いました。



ホームページ/山なみネット



もみじだより広報



山なみ通信



千里中央市民イベント

### 2. 山麓保全交流事業(情報の共有化と意見交換による活動の場づくり事業)

#### 2-1 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会の活動

- ・同協議会(国、府、市、森林総研等の行政委員と11の市民団体で構成)では、NPO山麓委員会が事務局を担い、年7回の例会を行った他、年6回の分科会(連絡会)を行いました。
- ・対話と協働の仕組みの中で、行政、市民団体の意見交換や情報の共有化を図りながら、5ヶ所に防鹿ネットを設置、植生調査や定点カメラによるモニタリング、「箕面の森の案内板」の補修、エキスポの森や政ノ茶屋園地にベンチ10台を設置するなど多彩な活動を行いました。

### 3. 山林所有者関連事業(山林所有者との関わり強化事業)

#### 3-1 山林所有者への対応

- ・山林所有者による山の手入れの活動に対する公益信託「みのお山麓保全ファンド」による助成は2015年度(2・8月期)、74件6,956,500円でした。 ※2015年2月67件、2015年8月7件採用

#### 3-2 山林整備サポーターの派遣

- ・高齢化が進む山林所有者に代わって山の手入れを行う「ボランティア派遣」は、35件(前年より1件増)の所有者から要請があり、のべ262人のボランティアが山の手入れの活動を行いました。

### 3-3 山林所有者の”悩み相談会”の実施

- ・山林所有者の”悩み相談会”を2回(7月・2月)行い、4件の相談(1件は継続)を受けました。
- ・自分の所有する土地の位置確認や相続に関係しての助成手続きなどの相談でした。
- ※山林の寄付要望については、外部団体(大阪自然環境保全協会)と連携しながら、継続して作業を進めています。
- ・山林所有者の相談の受け皿として、今後も、きめ細かく対応していく必要があります。

## 4. 「山麓ファンド」への募金活動(人と資金の循環の仕組みづくり事業)

- ・2015年(15年1月～12月)の募金額は、1,331,607円(前年より200,891円増)(箕面市ふるさと寄附金/518,500円を含む)となり、2年連続して100万円を超えました。
- ※山麓ファンドへの寄付とは別に、NPO山麓委員会に対して、ナラ枯れ被害対策を目的として259,200円の寄付をいただきました。
- ・「箕面の森の守りびと」(山麓ファンドサポート会員)は200名(前年より28名増)となりました。
- ・「阪急阪神未来のゆめ・まちプロジェクト」から、箕面の紅葉の保全と再生を目的に募金をいただいた他、募金付き自動販売機、募金箱、市民イベントなどで募金をいただきました。
- ※ 阪急箕面駅「もみじの足湯」募金200,314円(同プロジェクト及び阪急電鉄)
- ・12月に、山麓ファンドの募金キャンペーンを行った結果、箕面市のふるさと寄附金14件、202千円の募金をいただきました。



山林所有者の悩み相談会



リーフレット/箕面の森の守りびとになりませんか！



ゆずるの足湯募金

## 5. 人材 & 活動組織の育成事業

### 5-1 「みのお森の学校」の開催による人材育成

- ・人と自然の入門講座として10回講座に刷新した「みのお森の学校」、第10期生(2014年9月～2015年6月)は20人が受講、2015年9月から始まった第11期(2016年6月修了)は、現在24名が受講しています。

### 5-2 「山麓学習(箕面の自然学習)」を担える人材の育成

- ・山麓学習部会の活動として、小学校の授業のお手伝いをするスクールインタープリター養成入門講座(1日間の講義・実習)を7月に行い、6人が参加・修了しました。
- ・養成入門講座の修了生を加えて、箕面市内の中学校で年3回、小学校の夏休み学童保育を1回行いました。

### 5-3 新たな市民ボランティア組織の立ち上げ支援

- ・新規の活動助成は、明治の森箕面国定公園の写真展の1件であり、立ち上げ支援を行いました。



みのお森の学校



スクールインタープリター養成講座



明治の森箕面国定公園の写真展





## 6. 企画及び調査・研究事業

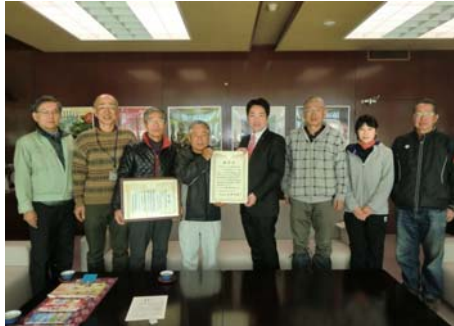
### 6-1 「ナラ枯れ」防止対策

- ・平成27年度森林病虫害防除活動優良事例コンクールで、ナラ枯れ被害 防止グループが森林病虫害防除協議会会長賞を受賞し、箕面市長表彰も贈られました。
- ・「ナラ枯れ」被害防止P/Tとして、行政(箕面市・国・府など)との情報の共有化と協働の取り組みにより、市民の役割としての早期発見や応急的な処置を中心に精力的な活動を行い、「ナラ枯れ」被害防止の一定の成果が得られました。
- ・従来の粘着シート貼付に加えて、保護すべき生存大径木への予防的な処置としての樹幹注入も行いました。

※2015年4月～2016年3月期間で延べ481人/日(前年より229人/日増)の活動



全国的な賞を受賞



箕面市長賞を受賞



樹幹注入のための作業

### 6-2 「箕面の森林セラピー

- ・森林の機能を活用した「こころとからだの健康増進」を目的とした「森林セラピー」事業の研究として毎月、研究会や研修会を行いました。
- ・森のセラピーアシスター養成講座(5日間の講義・実習と試験)を行い12名が受講し修了しました。
- ・林野庁の「森林ふれあい推進事業」に応募し、計3回(5・10月、3月)実施し、計30人の参加でした。通常のマンスリーセラピーとしては14名の参加者でした。必要とされる人に情報を届けるPR・広報についての課題を残しました。



### 6-3 生物多様性の確保に向けて

- ・明治の森箕面自然休養林管理運営協議会と連携して、生物多様性の保全に向けた活動として「人と自然の共生のための研究フォーラム」を10月に行い、47人が参加しました。(山とみどりの市民イベント)
- ・年10回「生きもの会議」を開き、ホテルの観察会や保全のための啓蒙の他、西日本一斉たんぽぽ調査に参加しました。また、活動の輪を広げるため「生きものカフェ」を2回行いました。 ※「生きもの会議」は、将来独立をめざした団体です。



研究フォーラム

## 7. 「山麓ファンド」助成事務サポート事業

### 7-1 助成申請の受付や活動促進など

- ・「山麓ファンド」の助成申請の広報、申請書の配布と受付、申請の相談などの山麓ファンド助成サポート事務を行いました。

山林所有者への活動助成: 15年度(2015年2月・2015年8月)74件、6,956,500円

市民団体への活動助成: 15年度(2015年2月・2015年8月)17件、2,197,300円

- ・施設整備などハード事業を対象とした「特別助成」の活動を促進し、2015年8月期に大阪観光株による「多言語標識整備事業」の申請があり、助成が採用されました。 ※助成金540,000円



## 7-2 助成事業の支援や進捗確認など

・「山麓ファンド」の助成を受けた団体や山林所有者などの活動支援や進捗確認などを行いました。

## 7-3 みのお山麓ファンド助成活動の報告交流会

・2015年6月に、13の市民団体やみのお森の学校の修了生、計44人が参加して、みのお山麓保全ファンドの活動報告・交流会を行いました。



## 8. 箕面ビジターセンター自然解説事業

大阪府から箕面ビジターセンター企画運營業務について、公募型プロポーザル方式による提案募集があり、NPO山麓委員会が応募し選定されました。  
※期間:2015年10月～2018年9月 提案金額:9,620,000円(税込、3ヶ年)

### 8-1 自然解説活動

・2015年度は、土日・祝日を中心に、8月・11月の平日を含めて、年180人/日の自然解説員を派遣し、ビジターの安心・安全のためのハイキングコースの案内や、植物や野鳥など、季節の自然情報の発信を行いました。また、年29回の自然観察会の開催、年4回の自然情報誌「箕面ビジターセンターだより」を発行しました。

あわせて、箕面ビジターセンターの展示室内で季節に応じた各種の「企画展示」を行いました。

・別途、関西学院大阪インターナショナルスクールの小学4年生の校外学習を行いました。  
その他、林野庁箕面森林ふれあい推進センター主催の箕面豊川北小学校の校外学習に協力しました。(自然観察会や自然工作教室の実施)

### 8-2 企画活動、PR・広報活動

・年6回の「友の会」(企画会議)を開催し、ビジターセンターだよりや展示室企画、自然観察会企画、自然解説員の配置計画など、自然解説業務の企画検討を行いました。

### 8-3 PR・広報活動

・ホームページ「山なみネット」箕面ビジターセンターのイベント情報やブログ掲載など、情報発信や活動紹介を活発に行いました。

## 《箕面ビジターセンターのホームページを刷新しました》

トップページ ブログ 施設のご案内 交通・アクセス 小学校、団体のみなさまへ リンク お問い合わせ

**ビジターセンターのご紹介**

箕面の森は様々な大規模な寒冷地の絶景近く位置する地帯から生じる気流にも恵まれて、大都市近郊にありながら、およそ1,100種の植物と3,000種を超える昆虫類、数多くの野鳥、哺乳動物、両生・は虫類などが生息する自然の宝庫であり、美しい山なみ景観と豊かな生態系が育まれています。

[写真館へ](#)

明治の森箕面国立公園の四季をお楽しみください。こちらをクリック

**春の写真館**

新緑が美しい季節です。たくさんのお花や生き物と出会うことが出来るでしょう。

写真:中山雅博

**夏の写真館**

森の中は、緑の木陰が涼しくて快適です。たくさんのお花や生き物を撮影しています。

写真:中山雅博・高田博光

**イベント情報**

23	24	25	26	27	28	29
30	31					
≪4月≫			6月≫			

**イベントのご案内**

- 【アリジゴクの不思議発見!】 on 2016年6月5日 12:30 PM
- 【アリジゴクの不思議発見!】 on 2016年7月3日 12:30 PM
- 【ハイキング道の樹木観察と名札付け】 on 2016年5月7日 12:30 PM
- 【箕面み森の自然工作教室】 on 2016年8月21日 12:30 PM
- 【川の中の生き物観察】 on 2016年8月11日 12:30 AM
- 【川の中の生き物観察】 on 2016年8月28日 12:30 AM
- 【川の中の生き物観察(春)】 on 2016年4月24日 12:30 PM
- 【森の自然工作教室】 on 2016年5月8日

**展示室のご案内**

展示室では、明治の森箕面国立公園内の自然情報や見どころ情報を季節に応じて発信しています。鳥類、哺乳類、昆虫などはく製や標本展示、国立公園内の地図、文化財の紹介などを行っています。  
※展示室は入場無料です

**季節の自然情報**

**鳥類の展示**

**箕面自然教室**

**箕面ビジターセンター自然教室のご案内**

[自然教室のスケジュールはこちらをクリック](#)

**自然観察会 <ご家族で>**

川の中の生き物の観察  
近くの川に入って、川の中の生き物を観察します。

**アリジゴクの不思議発見**  
展示室のまわりで、アリジゴクをさがして観察します。

**小学校・団体のみなさまへ**

箕面ビジターセンターでは、子どもたちが身近な箕面の自然にふれあっていたくためのお手伝いをさせていただきます。平日の小学校の校外学習、及び土日祝日の小学生を対象とした団体利用にご活用いただけるプログラムをご用意しています。  
※小学校主に(2・3年、及び4・5年生)の児童を対象に無償で提供させていただきます。

**主なプログラム**

下記の中からご希望のプログラムを選んでお申し込みください。

すべてのプログラムをご希望の場合は、午前、午後のご利用となります。

1. パワーポイントによる箕面の森の自然や生き物などの紹介・・・約30分講義室で、箕面の四季折々の美しい自然や生き物などを画像で紹介いたします。

★講義室で自然や生き物を紹介